

医のねだん



新型コロナウイルスに今、感染しているかどうかを調べる検査は、遺伝子に注目するPCR検査と、ウイルス特有のたんぱく質(抗原)に注目する抗原検査があります。

政府の新型コロナウイルス感染症対策分科会は、検査を受ける人を、①発熱やせきなどの症状があり、医師が必要と認めた人②感染リスクが比較的高い無症状の人③感染リスクが比較的低い無症状の人

## PCR検査と抗原検査

# 症状ある人、濃厚接触者ら無料

### ◆新型コロナウイルスの検査費

	公的医療保険の対象	公的医療保険の対象外 (全額自己負担)
どういう人を検査する?	症状があり医師が必要と判断した人や、感染者の濃厚接触者ら	症状はないが、検査を必要とする人
PCR検査	1万8000円※1 (5400円) 1万3500円※2 (4050円)	2万~4万円程度
抗原検査	6000円(1800円)	1万~2万円程度

( )は3割負担の金額。ただ公費が充てられるので負担はゼロ  
※1 検体採取した医療機関以外に検体を運んで検査した場合  
※2 検体採取した医療機関で検査もした場合

PCR検査の検査費は、民間検査会社などに検体を運んで検査をした場合は1万8000円、検体採取をした医療機関が検査も行った場合は1万3500円です。抗原検査は6000円です。

公的医療保険が適用されるので、検査をした人が払う料金(3割負担の場合)は、それぞれ5400円、4050円、1800円になります。ただ、感染拡大を避ける狙いから、

——に分類。①②の場合に検査を迅速に受けられる体制作

りを求めています。②には感染者の濃厚接触者や、感染者が出た医療機関で働く人らが想定されています。

両検査には、公的医療保険が適用されます。

PCR検査の検査

や、スポーツ選手、感染が不安な人は③に該当します。こうした人たちもクリニックなどで検査ができるが、公的医療保険の適用外。1万~4万円程度の検査費は自己負担になりますが、自治体が補助金を出すなどの動きがあります。日本商工会議所は政府に、検査費負担の軽減など支援策を求めてています。

検査には限界があります。PCR検査をしても、感染者のうち陽性と判定されるのは7割程度と言われます。無症状的人は、陽性にならないことがあります。検査直後に感染する恐れもあります。

手洗いの徹底やマスクの着用など、感染予防が大切です。